

3月9日の国内株式市場の下落について

新型コロナウイルス懸念に追加的な悪材料発生

2020年3月9日

原油価格急落と円高が株価下落を加速

3月9日（現地、以下同様）の国内株式市場は、前引（11時30分）時点で、日経平均株価、TOPIX（東証株価指数）とも6%超、下落しています。大幅安の要因は、以下のように整理できると思われます。

- 新型コロナウイルスの欧米での感染拡大を受け、3月7日には米国ニューヨーク州が非常事態宣言を発令したほか、3月8日にはイタリアが北部地域に大規模な人の移動制限を課すなど、各国の対応が大規模、かつ深刻化してきたことで、今後への不安が一層高まったとみられること。
- 3月6日のOPEC（石油輸出国機構）と非OPEC主要産油国による「OPECプラス」会合で、減産交渉が決裂したことを受けて原油価格が急落し、金融市場全般への悪影響が懸念されたこと。
- 上記の動きを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったため、リスクオフ局面で買われやすい円への投資が強まり、米ドルを含む各国通貨に対し、急速に円高が進んだこと。

引き続き新型コロナウイルスの感染拡大には注意が必要ですが、先行して感染者が発生した中国、韓国、日本の状況を見ると、適切な感染防止策が実施されれば感染拡大の抑制は十分可能とみられます。当面の株式市場は経済への悪影響に対する懸念から不安定な推移が続くとみられますが、TOPIXのPBR（株価純資産倍率）もほぼ1.0倍まで低下するなど割安感が強まっているため、感染拡大ペースが鈍化してくれば、各国の金融・財政による経済支援策への期待が急速に高まる可能性もあると考えられます。

株値指数と為替レート



※2020/3/9は日本時間の午前11時30分時点

(出所) ブルームバーグ

原油価格



※2020/3/9は日本時間の午前11時30分時点

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。